

# 鷗外の「水沫集」

## 第一作品集に込めた詩想

生涯で50冊以上の文芸書を刊行した森鷗外。その第一冊目である、作品集『水沫（美奈和）集』が刊行されたのは、現在から130年前の1892（明治25）年、鷗外30歳のときのことです。小説『舞姫』『うたかたの記』『文づかひ』のドイツ三部作をはじめ、14篇の翻訳小説、2篇の翻訳戯曲、友人らと共に共訳した訳詩集『於母影』などが収録されています。鷗外自身の手によって編まれた600頁を超える大冊は、20代の鷗外の詩想すなわち文芸における試みや、野心の集大成と言えるでしょう。

『水沫集』は、鷗外にとって特別な一冊であったと共に、長きにわたって読み継がれた一冊でもあります。『水沫集』は版を重ね、鷗外が60歳で没するまでの間に、改訂版をして縮刷版が刊行されました。鷗外はその度に推敲し、序文や漢詩を新たに書き、字句に訂正を加えました。

本展の主役は、この一冊の本です。鷗外が『水沫集』で試みたことを、刊行の経緯や当時の鷗外の動向、収録作品などから展覧します。また、『水沫集』を読み影響を受けた文学者たちを紹介いたします。鷗外が第一作品集に込めたエモーションをご覧ください。

### 展示関連講演会

## 「世界文学への眺望 ——森鷗外の創作と翻訳——」

講師 松木 博 氏（大妻女子大学短期大学部教授）

日時 2023年3月19日〔日〕 14:00～15:30

会場 文京区立森鷗外記念館 2階講座室

定員 30名（事前申込制）

料金 無料（参加票と本展覧会観覧券（半券可）が必要）

申込締切 2月28日〔火〕 必着

### 申込方法

#### 往復はがき

往信に「3月19日講演会」・氏名（ふりがな）・住所・電話番号（緊急連絡用）を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連講演会」受付係）までご応募ください。

#### Eメール

件名に「3月19日講演会」、本文に氏名（ふりがな）・電話番号（緊急連絡用）・Eメールアドレスを明記の上、bmk-event@moriogai-kinenkan.jp にご応募ください。

※申し込みは、1通につき1名様（お一人様1通まで）、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。ご不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

### 展示解説

当館学芸員が展示解説を行います。

日時 2月15日、3月15日

いずれも水曜日 14:00～（30分程度）

会場 文京区立森鷗外記念館 2階講座室

定員 先着15名

申込不要、当日の展示観覧券が必要です。直接講座室へお越しください（13:45開場）。

### 次回展示

## 特別展「森家の食卓（仮）」

2023年4月8日（土）～7月9日（日） 予定

森家の食卓や家族で通ったお店などをとおして、近代日本の食文化や鷗外の食への思いを展覧します。

### ご来館にあたって

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ご来館の皆様安心してご観覧いただけるよう、必要な対策を講じて開館しています。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。今後の状況によっては、展覧会や関連事業について変更が生じる可能性があります。本展覧会の最新情報は、記念館HP等でご確認ください。



文京区立  
森鷗外記念館  
Mori Ogai Memorial Museum

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4

TEL 03-3824-5511 <https://moriogai-kinenkan.jp>

モリネカフェ 10:30～17:30（ラストオーダー17:00）

### 交通案内

#### 電車

- 東京メトロ千代田線「千駄木」駅1番出口徒歩5分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅1番出口徒歩10分
- 都営三田線「白山」駅A3番出口徒歩15分
- JR線・京成線「日暮里」駅西口徒歩15分

#### バス

- 都営バス草63番系統「千駄木一丁目」下車徒歩1分
- 都営バス上58番系統「団子坂下」下車徒歩5分
- B-ぐる千駄木・駒込ルート
- 「19特養ホーム千駄木の郷」下車徒歩5分

※一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。



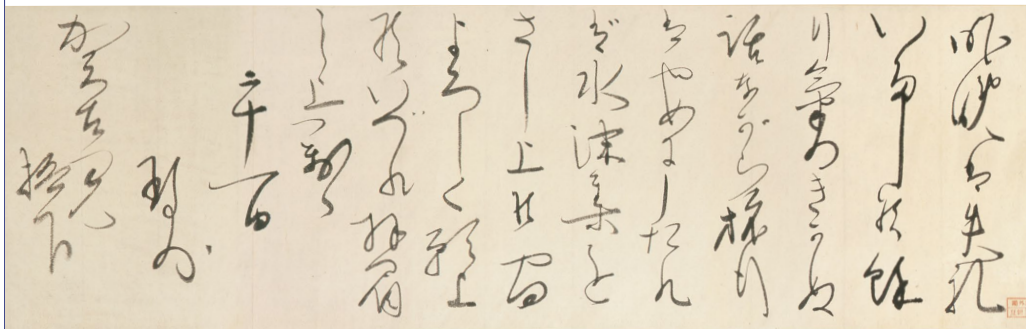
2023  
2/3（金）——4/2（日）  
文京区立森鷗外記念館 展示室2

休館日 2月20日（月）～22日（水）、3月27日（月）、28日（火）  
10時～18時（最終入館は17時30分）  
一般300円（20名以上の団体240円）

- 中学生以下無料、障害者手帳（提示の方）と介護者1名まで無料
- 文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット（押印入）、友の会会員証（提示で割引）
- その他各種割引がございます。詳細は記念館HPをご覧ください。



『水沫集（美奈和集）』  
奥左から：初版（明治25年）、  
初版異装本（明治25年）、  
再版（明治27年）、  
訂正再版（明治39年）、  
手前：縮刷版（大正5年）



鷗外筆賀古鶴所宛書簡 明治25年7月21日 刊行まもなく親友の賀古鶴所に宛てたもの。書中に「水沫集をさし上候」とある。